

1 1月定例教育委員会 会議録

1、開催日時 平成28年11月28日（月）午後1時30分から午後3時10分

2、開催場所 市役所2階第一会議室

3、出席委員の氏名

教育長 梶原 清

職務代理者 小林 重雄

委員 関口 稔夫、小林 孝次、川村 直廣、赤澤 敬子

委員以外で出席した職員

教育委員会教育次長、学校教育課長、学校教育課長補佐、生涯学習課長補佐、

4、教育長開会宣言

5、会期の決定

6、今回会議録署名委員

小林 重雄委員、小林 孝次委員が指名される。

7、前回の会議録の承認

職員が10月定例会会議録を朗読し承認される。

8、教育長報告

平成28年10月28日から平成28年11月27日までの教育長活動が報告された。

学校教育課長より、指定校変更4件、区域外就学変更6件、について資料に基づき説明を行い、申請事由が適正であることから承認・承諾を行うとともに、他市教育委員会との区域外就学の協議を行った事務処理について報告がなされた。

9、議 事

議第11号 平成28年度全国学力・学習状況調査について

〔説明〕 学校教育課長

本年も全国学力テストが4月19日に、市内全小中学校の小学6年生及び中学3年生を対象に実施され、その結果については、9月定例会でご確認いただいたとおりである。

結果の分析については、「学力定着・向上検討委員会」にお願いをし、この度、その報告書が出来上がった。正式には、明日、関係する代表の先生方が教育長に報告書を提出することになっている。

この結果の公表については、一昨年、校長会や教育会等との意見交換をする中で、検討委員会からの報告書に基づき、点数の公表はせずに、文言による公表を行ってきた。また、学習状況が成績にも関係していることから、合わせて学習状況についても公表を行ってきた。

昨年の公表資料を添付したが、本年もこのような形で公表することによろしいか、ご協議いただきたい。

川村直廣委員

点数（平均正答率）の公表については、公表しない方がいい、という強い意見があるのか？

学校教育課長

一昨年、協議された時の意見として、点数を公表してしまうと学校の順位付けに繋がるとか、小規模校では個人が特定されてしまう等の意見があった。ただ、説明責任を果たすという意味からも、何らかの形で公表をし、その結果から弱いところを強化したり、頑張っしてほしいということから、公表はするが、点数は出さずに文言で公表するという結論になった。

川村直廣委員

これまでの中で、いくつかの市は、点数を公表しているところもあるが、いつまでも「県より下回っている」ということではなく、点数を公表して学校間に競争意識を持たせるということも、大事なのではないか？

関口稔夫委員

点数を公表して、生徒に刺激を与えるのも一つの方法だと思うが、保護者にもよく状況を知ってもらい、学力の向上に繋げてほしい。

学校教育課長

各学校でも取り組みは行っており、個々の成績については、三者懇談等において保護者にもしっかり伝えている。

小林重雄委員

成績の良い他県では、点数を公表して結果を出しているところもあると思う。結果が出てこない、保護者だけでなく市民の感情として、市はそれでいいのかということになる。この資料は情報公開の対象となるのか？

学校教育課長

点数は対象とならない。今回の結果に関しては、山梨県も非常に危機感を持っている。

川村直廣委員

市内小中学校での共通の対策は何かあるのか？

学校教育課長

この資料を作成するのに各学校から先生方が委員として関わっており、どの部分が弱いとか、教科においてどの辺が劣っているかを分析し、それを持ち帰って授業に活かすなどの対策は取っている。

市担教員を入れるというのも、そもそもこの検討委員会からの提言により行っており、少人数学習指導が有効であるという提言の中で市担教員を配置している。その他にも学力向上フォローアップ事業などが具体的な対策である。

川村直廣委員

例えば、共通の問題をすべての学校で行い、指導していくというのも一つの方法ではないか？毎年、検証して報告書を作成し、報告したら終わりのような感じを受けるので、報告書を出した後の対策が大事だと思う。

学校教育課長

県外の点数の高いところでは、学力テストの前に過去問題をさせるという話もあり（事実かどうかは不明）、点数を上げることだけに走ってしまうということが懸念される。この学力テストでは、成績を上げることだけが目的でない部分もある。

小林孝次委員

子ども達へのきめ細かな指導方法に関しては、検証はしているのか？

学校教育課長

市担教員を配置して、実際に点数や成績が上がった学校の例もある。

小林孝次委員

それらも含めて、学校側がどのような方針を打ち出していけるかが大事であると思う。先生達の意識改革が必要である。

赤澤敬子委員

生徒は、高校受験で初めて周りを意識する状況にあるので、市内で一斉に何かに取り組むことが、年に一回でも二回でもあると、意識付けの面でもいいのではと思う。

塾に通っている子ども達は、年に何回もテストを行うので、自分の実力がどのくらいかわかっているが、通っていない子ども達は、いざ高校を選ぶという段階の時に初めて自分がどのくらいの位置にいるのかを知るとというのが現状なので、川村委員の案をすぐに現実化するのは難しい事かも知れないが、都留市全体の意識を高めることも大事だと思う。

学校教育課長

一昨年の教育委員会議でも同じような意見が出され、点数を公表したらどうかという意見もあった。

川村直廣委員より

校長先生がどのくらいの危機感を持っているかが大事だと思う。

関口稔夫委員

学校間の比較も大事であると思う。ある程度の競争も必要で、学力向上に繋がっていくと思うが？

赤澤敬子委員

公表は、この形でいいと思うが、具体的には、市内一斉テストを年に一回行い、中学校3校での順位がわかればいいと思う。

川村直廣委員

学力向上検討委員会は、9月から11月までなので、一年間を通して活動出来ればいいと思う。

学校教育課長

検討委員会からの報告書については、各学校に持ち帰り、授業改善に役立てていると理解している。

小林孝次委員

子ども達がこの結果を基に、自分のこれからの生き方の為に何が必要なのか、自分の将来を見つめながら、担任を含めた話し合いの中で、子ども達が学習に対して意識改革が出来ることがいいと思う。

川村直廣委員

各学校で努力しているから大丈夫では、変わらない。知識を覚えれば成績がすぐに上がるものでもなく、考え方や表現の仕方など、力をつけるためには、少しの機会では身に付かない。家庭においても、親御さんとの会話の中で学習に対する意識を持つことが大事である。

各学校だけでは、負担が大きすぎる部分もあるので、教育委員会を含めた中で検討が必要である。

関口稔夫委員

最終的には、親が刺激を受けて意識を変えないと、子ども任せでは、いつまでたっても変わらない。

赤澤敬子委員

熱心な親と忙しい親の両極端であり、学校と協力して学力向上を目指すのは、素晴らしいことではあるが、忙しい親が多すぎて、現実的には難しいと思う。

学校教育課長

今年、家庭学習の手引きを統一した形で作成し配布した。

これまで、それぞれの学校で別々に取り組んでいたが、市内で一斉に取り組もうということで、統一した物を作成した。

川村直廣委員

どんな考え方をして、その答えを導き出したのかが大事で、知識だけを与えるのに親が関わるのではなく、なぜこの答えになるか、その課程を子どもと話し合うことが出来れば良いと思う。

梶原教育長

公表については、これまでどおりの方法とするが、この問題については、今後もいい方向に繋がっていければと思うので、またご指導をお願いします。

以上の発言あり。

梶原教育長が意見を求め協議したところ、原案のとおり承認された。

【原案のとおり決定】

10、その他

[説明] 教育次長

(1) 生涯学習課関係イベント等について

[説明] 学校教育課長

(1) 市内小中学校一斉公開授業について

- (2) 県教育功労者表彰の受賞祝賀会について
- (3) その他

【 了 知 】

1 1、教育長閉会宣言